



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月3日

上場会社名 株式会社ジーエス・ユアサ コーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 6674 URL <https://www.gs-yuasa.com/jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 CEO (氏名) 村尾 修  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 松島 弘明 TEL 075-312-1211  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月3日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	111,429	16.7	3,570	11.2	2,246	△47.4	612	△77.1
2022年3月期第1四半期	95,458	25.0	3,210	220.3	4,268	151.1	2,681	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 12,610百万円 (184.9%) 2022年3月期第1四半期 4,426百万円 (89.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	7.62	—
2022年3月期第1四半期	33.27	—

(参考) のれん等償却前営業利益 2023年3月期第1四半期 3,834百万円 (1.6%) 2022年3月期第1四半期 3,775百万円 (140.9%)  
 当社は、経営上の重要な指標として、のれん等償却前営業利益を用いております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	521,952	262,081	42.8
2022年3月期	480,763	249,938	44.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 223,363百万円 2022年3月期 215,233百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	15.00	—	35.00	50.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	15.00	—	35.00	50.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	240,000	23.0	7,500	43.5	7,500	14.2	2,500	13.3	31.06
通期	520,000	20.3	28,000	23.5	28,000	13.4	12,000	41.7	149.11

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	80,599,442株	2022年3月期	80,599,442株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	159,605株	2022年3月期	159,410株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	80,439,943株	2022年3月期1Q	80,581,816株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	11
3. 補足情報	12
(四半期損益の推移)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ①業績全般の動向

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、部材不足や中国の都市ロックダウン等によるサプライチェーンの混乱が継続しています。また、ウクライナ情勢等に起因する原材料価格上昇、エネルギーコスト増加などインフレが加速しており、インフレ抑制のため米国は金融引き締めを早め、日米金利差拡大により円安が進みました。

このような経済状況の中、当社グループでは、主としてハイブリッド車用リチウムイオン電池の販売数量が増加していることや、Inci GS Yuasa Aku Sanayi ve Ticaret Anonim Sirketiを連結化した影響に加え為替の円安影響もあり、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,114億29百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて159億71百万円増加(16.7%)しました。これに伴い、営業利益は35億70百万円(のれん等償却前営業利益は38億34百万円)と前第1四半期連結累計期間に比べて3億60百万円増加(11.2%)しました。経常利益は持分法による投資損益の悪化や為替差損の計上等により、22億46百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて20億21百万円減少(△47.4%)しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、6億12百万円と、前第1四半期連結累計期間に比べて20億68百万円減少(△77.1%)しました。

#### ②報告セグメント別の動向

##### (自動車電池)

国内における売上高は、新車販売台数の減少に伴い、新車用電池の販売数量が前年同期を下回りましたが、販売価格是正の取組を進め、176億93百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ1億11百万円減少(△0.6%)に留まりました。セグメント損益(のれん等償却前)は、販売数量の減少により、9億58百万円と前第1四半期連結累計期間並に比べて55百万円減少(△5.4%)しました。

海外における売上高は、Inci GS Yuasa Aku Sanayi ve Ticaret Anonim Sirketiを連結化した影響に加え為替の円安影響もあり、599億67百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて152億22百万円増加(34.0%)しました。セグメント損益は、物流費等のコスト増の影響を受けましたが、売上高増加の影響により、30億21百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて70百万円増加(2.4%)しました。

これにより、国内・海外合算における売上高は、776億60百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて151億10百万円増加(24.2%)しました。セグメント損益(のれん等償却前)は、39億80百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて14百万円増加(0.4%)しました。

##### (産業電池電源)

売上高は、大型風力発電用リチウムイオン電池の納入が前年度で終了した影響により、174億40百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて24億16百万円減少(△12.2%)しました。セグメント損益は、販売構成の変化により、4億58百万円の損失と前第1四半期連結累計期間に比べて1億66百万円改善しました。

##### (車載用リチウムイオン電池)

売上高は、ハイブリッド車用リチウムイオン電池の販売数量が増加したことにより、123億58百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて34億49百万円増加(38.7%)しました。セグメント損益は、売上高増加の影響により、3億83百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて2億18百万円増加(132.8%)しました。

##### (その他)

売上高は、39億69百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて1億72百万円減少(△4.2%)しました。全社費用等調整後のセグメント損益は71百万円の損失と前第1四半期連結累計期間に比べて3億41百万円悪化しました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、売上債権の回収による減少がありましたが、Inci GS Yuasa Aku Sanayi ve Ticaret Anonim Sirketiの新規連結等により、5,219億52百万円と前連結会計年度末に比べて411億89百万円増加しました。

負債は、仕入債務の増加やInci GS Yuasa Aku Sanayi ve Ticaret Anonim Sirketiの新規連結により、2,598億71百万円と前連結会計年度末に比べて290億46百万円増加しました。

純資産は、配当金の支払がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加や為替レートの変動による為替換算調整勘定の増加などにより、2,620億81百万円と前連結会計年度末に比べて121億42百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月12日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 2022年3月31日	当第1四半期連結会計期間 2022年6月30日
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,855	31,546
受取手形、売掛金及び契約資産	85,399	78,161
電子記録債権	7,163	6,325
商品及び製品	54,986	66,900
仕掛品	19,236	23,912
原材料及び貯蔵品	18,828	25,600
その他	15,249	19,997
貸倒引当金	△418	△433
流動資産合計	226,300	252,011
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	56,279	60,632
機械装置及び運搬具（純額）	37,108	44,026
土地	23,335	24,205
リース資産（純額）	284	269
使用権資産（純額）	5,398	5,545
建設仮勘定	15,315	13,040
その他（純額）	5,284	5,425
有形固定資産合計	143,007	153,145
無形固定資産		
のれん	—	4,441
リース資産	825	756
その他	2,069	2,183
無形固定資産合計	2,894	7,381
投資その他の資産		
投資有価証券	66,319	65,487
退職給付に係る資産	32,954	33,184
繰延税金資産	2,338	3,878
リース債権	2,635	2,794
その他	4,595	4,355
貸倒引当金	△322	△321
投資その他の資産合計	108,520	109,378
固定資産合計	254,423	269,904
繰延資産	39	36
資産合計	480,763	521,952

(単位：百万円)

	前連結会計年度 2022年3月31日	当第1四半期連結会計期間 2022年6月30日
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,174	56,030
電子記録債務	19,861	19,343
短期借入金	18,782	26,769
コマーシャル・ペーパー	2,000	11,000
未払金	12,041	10,192
未払法人税等	2,857	2,506
設備関係支払手形	274	552
設備関係電子記録債務	6,821	6,864
役員賞与引当金	120	120
その他	22,444	23,151
流動負債合計	129,376	156,531
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	41,696	42,100
リース債務	6,100	6,153
繰延税金負債	19,910	20,221
再評価に係る繰延税金負債	928	928
役員退職慰労引当金	67	70
退職給付に係る負債	4,892	5,291
その他	7,852	8,573
固定負債合計	101,447	103,339
負債合計	230,824	259,871
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	33,021	33,021
資本剰余金	55,292	55,292
利益剰余金	93,661	91,054
自己株式	△351	△351
株主資本合計	181,623	179,016
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,180	16,178
繰延ヘッジ損益	△794	60
土地再評価差額金	2,137	2,137
為替換算調整勘定	7,163	17,180
退職給付に係る調整累計額	8,922	8,790
その他の包括利益累計額合計	33,609	44,346
非支配株主持分	34,705	38,718
純資産合計	249,938	262,081
負債純資産合計	480,763	521,952

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 自 2021年4月 1日 至 2021年6月30日	当第1四半期連結累計期間 自 2022年4月 1日 至 2022年6月30日
売上高	95,458	111,429
売上原価	73,838	87,363
売上総利益	21,619	24,066
販売費及び一般管理費	18,408	20,495
営業利益	3,210	3,570
営業外収益		
受取利息及び配当金	334	493
持分法による投資利益	921	—
為替差益	5	—
正味貨幣持高による利得	—	795
その他	149	118
営業外収益合計	1,410	1,406
営業外費用		
支払利息	213	494
持分法による投資損失	—	1,277
為替差損	—	789
その他	139	168
営業外費用合計	353	2,730
経常利益	4,268	2,246
特別利益		
固定資産売却益	476	6
投資有価証券売却益	34	7
段階取得に係る差益	—	1,010
負ののれん発生益	989	—
特別利益合計	1,500	1,024
特別損失		
固定資産除却損	47	121
固定資産売却損	20	1
投資有価証券評価損	102	—
工場移転費用	397	—
特別損失合計	568	123
税金等調整前四半期純利益	5,200	3,148
法人税等	1,211	1,337
四半期純利益	3,989	1,810
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,308	1,198
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,681	612



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 自 2021年4月 1日 至 2021年6月30日	当第1四半期連結累計期間 自 2022年4月 1日 至 2022年6月30日
四半期純利益	3,989	1,810
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△676	△12
繰延ヘッジ損益	15	854
為替換算調整勘定	243	8,151
退職給付に係る調整額	60	△130
持分法適用会社に対する持分相当額	794	1,937
その他の包括利益合計	436	10,799
四半期包括利益	4,426	12,610
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,337	9,330
非支配株主に係る四半期包括利益	1,088	3,279

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	自動車電池			産業電池 電源	車載用 リチウム イオン電池	計		
	国内	海外	小計					
売上高								
外部顧客への売上高	17,804	44,745	62,549	19,857	8,908	91,315	4,142	95,458
セグメント間の内部 売上高又は振替高	321	683	1,005	2,994	3,774	7,773	△7,773	—
計	18,126	45,428	63,555	22,851	12,683	99,089	△3,631	95,458
セグメント利益又は損失 (△)	1,013	2,951	3,965	△625	164	3,505	270	3,775

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びセグメント利益の調整額であります。報告セグメントに含まれない事業セグメントは、特殊電池事業等を含んでおります。セグメント利益又は損失(△)の調整額は△630百万円であり、セグメント間取引消去△403百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△227百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 上表のセグメント利益又は損失(△)の合計額と連結損益計算書上の営業利益3,210百万円との差は、のれん等の償却費564百万円であります。のれん等には、企業結合日において識別可能資産として受け入れた無形固定資産を含んでおります。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「産業電池電源」セグメントにおいて、サンケン電設㈱(2021年5月1日付で㈱GSユアサ インフラシステムズへ社名変更)の株式を取得し連結子会社としたことにより、負ののれん発生益を認識しております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては989百万円であります。なお、取得原価の配分が完了していないため、上記の金額は暫定的に算定された金額であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	自動車電池			産業電池 電源	車載用 リチウム イオン電池	計		
	国内	海外	小計					
売上高								
外部顧客への売上高	17,693	59,967	77,660	17,440	12,358	107,459	3,969	111,429
セグメント間の内部 売上高又は振替高	310	1,156	1,467	4,847	66	6,381	△6,381	—
計	18,003	61,124	79,128	22,288	12,425	113,841	△2,411	111,429
セグメント利益又は損失 (△)	958	3,021	3,980	△458	383	3,905	△71	3,834

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びセグメント利益の調整額であります。報告セグメントに含まれない事業セグメントは、特殊電池事業等を含んでおります。セグメント利益又は損失(△)の調整額は△336百万円であり、セグメント間取引消去△61百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△275百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. 上表のセグメント利益又は損失(△)の合計額と連結損益計算書上の営業利益3,570百万円との差は、のれん等の償却費263百万円であります。のれん等には、企業結合日において識別可能資産として受け入れた無形固定資産を含んでおります。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「自動車電池海外」セグメントにおいて、Inci GS Yuasa Aku Sanayi ve Ticaret Anonim Sirketiの株式を取得し連結子会社としたことにより、当第1四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。

これに伴うのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間において4,121百万円であります。なお、のれんの金額は、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(追加情報)

(連結の範囲の変更)

当第1四半期連結会計期間において、Inci GS Yuasa Aku Sanayi ve Ticaret Anonim Sirketiの株式を追加取得し子会社化したことに伴い、同社を連結の範囲に含めております。

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積り)

当第1四半期連結会計期間における新型コロナウイルス感染症による当社グループの事業への影響に関する会計上の見積り等に用いた仮定については、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した内容から重要な変更はありません。

(超インフレ経済下における会計処理)

当第1四半期連結会計期間より、トルコ共和国にある連結子会社であるInci GS Yuasa Aku Sanayi ve Ticaret Anonim Sirketiの四半期財務諸表(当第1四半期連結会計期間)について、IAS第29号「超インフレ経済下における財務報告」に従った調整を実施しております。

これに伴い、当該会計基準を遡及適用した場合の累積的影響額として、当第1四半期連結会計期間の期首利益剰余金が401百万円減少し、期首為替換算調整勘定が2,019百万円増加しております。

## 3. 補足情報

(四半期損益の推移)

2023年3月期(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (2022/4-6)	②第2四半期 (2022/7-9)	③第3四半期 (2022/10-12)	④第4四半期 (2023/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	111,429	—	—	—	—	—	—
営業利益	3,570	—	—	—	—	—	—
経常利益	2,246	—	—	—	—	—	—
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	612	—	—	—	—	—	—

2022年3月期(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (2021/4-6)	②第2四半期 (2021/7-9)	③第3四半期 (2021/10-12)	④第4四半期 (2022/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	95,458	99,666	118,022	118,986	195,124	313,146	432,133
営業利益	3,210	2,016	8,675	8,761	5,226	13,902	22,664
経常利益	4,268	2,301	9,507	8,607	6,569	16,076	24,684
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	2,681	△473	1,141	5,119	2,207	3,348	8,468

2021年3月期(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (2020/4-6)	②第2四半期 (2020/7-9)	③第3四半期 (2020/10-12)	④第4四半期 (2021/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	76,376	95,949	105,691	108,494	172,325	278,016	386,511
営業利益	1,002	4,292	9,089	10,426	5,294	14,383	24,810
経常利益	1,699	4,800	10,123	10,655	6,500	16,623	27,279
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	△27	149	5,546	5,787	121	5,667	11,455

2020年3月期(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (2019/4-6)	②第2四半期 (2019/7-9)	③第3四半期 (2019/10-12)	④第4四半期 (2020/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	90,082	100,331	102,662	102,476	190,414	293,077	395,553
営業利益	2,040	5,508	6,872	7,254	7,549	14,421	21,676
経常利益	2,873	5,551	7,499	7,185	8,424	15,924	23,109
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,473	3,300	4,430	4,469	4,774	9,204	13,674

2019年3月期(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (2018/4-6)	②第2四半期 (2018/7-9)	③第3四半期 (2018/10-12)	④第4四半期 (2019/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	96,256	99,158	110,230	107,442	195,415	305,646	413,089
営業利益	2,917	4,038	7,358	8,339	6,956	14,315	22,654
経常利益	3,165	4,327	8,308	8,927	7,492	15,800	24,728
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,430	2,023	6,636	3,433	3,454	10,090	13,524